

# 有明浜の海浜植物 とアサギマダラ

## だより 9号

有明浜の海浜植物とアサギマダラ飛翔会発行



### 1.有明浜の清掃活動

2023年3月11日

東日本大震災から12年が経過し、最初に黙とうを行いました。9番ゲート付近の清掃になります。暖かな春の日差しを受け、皆さん熱心にマイクロプラスチック等の収集にあたります。ひとり、黙々と拾い集めます。本日は、空き缶・瓶などをたくさん集まり分別しました。20名以上の参加がありました。



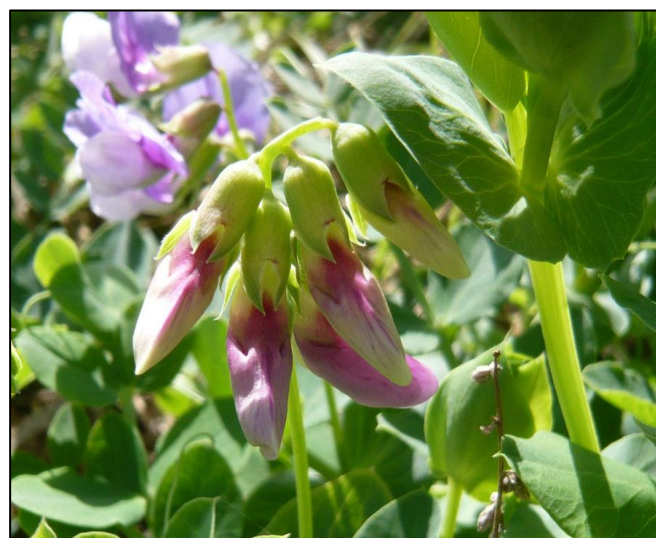
2023年4月8日

4番～5番ゲート付近の清掃です。今日は風が強くて寒く、海は白波が立っていました。手に持つゴミ袋が風で飛ばされそうになります。



### 海浜植物の観察

有明浜で唯一1ヶ所のみ群生するハマエンドウ



とても地味な花のヒメケフシグロ



2023年5月13日

9番ゲート付近の清掃です。マイクロプラスチック等の収集と海浜植物の観察を行いました。どんよりと今にも雨が降りそうな天候でした。



テリハノイバラ



オカヒジキ

## 2.市民の海浜植物花見会



シコ、ナミキソウがあり、ツルナは極小の黄色い花が見え、コウボウムギの雄花と雌花、ハマニガナなどがありました。

2023年5月21日に有明浜周辺の海浜植物の花を見ようと会員らが集まりました。お子様連れの家族参加で花見会を行いました。ハマウツボは2芽が残って他の株は枯れていました。トベラの白い花があり、まもなく開花時期を迎えるハマナデ



ハマウツボ



ツルナ



コウボウムギ



ハマニガナ

### 3. 交流授業の実施

2023年3月15日に三豊中学校で交流授業を行いました。きっかけは、写真展に丸岡先生がいらっしゃって、アサギマダラについて生徒たちに紹介をしてくれないかということから始まりました。

当日は高橋泰雄さん、太田晴夫さん、泉宮幸司さんらが中学校に行きました。まず、久保田校長先生にご挨拶をしてそして、会場となる新体育館に行き、生徒たちが入ってくる通路にテーブルを置きアサギマダラの標本とパネルを展示することにしました。このほうがまず一番に目に入り説明の前に、見てもらっておこうと考えたからでした。

114名の生徒が入って来ました。講話は太田さん、泉宮さんは太田さんのサポート役、高橋さんは撮影担当です。メディアの取材は三豊ケーブルテレビと四国新聞でした。

太田さんが生徒に質問しました。「アサギマダラを見たことのある人は手を挙げてください」……いない。こんなにも人気がないのか、知られていないのか。よりいっそう熱弁奮わなきゃ。有明浜の海浜植物とアサギマダラ飛翔会は、有明浜の海浜植物の保護育成をしていることの紹介をして、アサギマダラの雄・雌の見分け方、旅をする蝶アサギマダラ、活動するに適した温度、人を恐れないから接近して見ることができる等です。そして、ハガミ山 木之郷フジバカマ園で育っている幼虫の話なども話しました。

丸岡先生の作った生徒に渡す資料は [ariakehama.org](http://ariakehama.org) から引用したSDGsについて述べていることが、生徒の将来を十分考えて作っているなあと熱心な指導を垣間見た気がしました。交流学习は授業であり時間オーバーは許されません。ちゃんと時間内に完了した太田さん素晴らしいと思います。



担当してくれた丸岡先生

#### ■ 生徒からの質問

##### — なぜ旅をするのか？

「正確には解明されていないが活動しやすい温度22℃から26℃を求めて北上したり、南下しているのだろう」

##### — 雄、雌の割合は？

「ハガミ山 木之郷フジバカマ園では50対1です」

##### — 雌はどんな花にやって来るか？

「一般的な花です。」

##### — 飛来数は増えていますか

「フジバカマ園では昨年は一昨年の50%」

##### — アサギマダラを始めた動機は？

「海浜植物の環境保護活動だけでは、人が集まらない。アサギマダラを介して人の輪を広げるため。」



## ■生徒の感想

- ・お話を聞いて、アサギマダラが 1000km～2000km の距離を移動するのを知り、驚きと共に感動しました。この授業を受ける前よりも少し蝶に興味が持てました。
- ・アサギマダラは世界で唯一海と国境を越えられることがわかりました。アサギマダラは滅多に見られないけど、アサギマダラ飛翔会の活動をより見ることが増えたようなので、私もぜひ参加してみたいなと思いました。
- ・アサギマダラを守るためにも海のゴミをなくしたりする、ボランティアに参加してみたいと思った。
- ・自分たちが住んでいる近くにもいると知ってうれしくなりました。数を少しでも減らさないために地球温暖化を、阻止することができたらいいなと思いました。
- ・最近、良く聞く地球温暖化が遠くでも関係しているのがびっくりした。そして、木や花に対してだけでなく蝶にも関わりがあり、結果的にすべて自然と人との関わりになるのだと思いました。
- ・私は蝶の翅に文字を書くのはいけないことじゃないかと思っていましたが、マーキングを書くことで調査ができアサギマダラのことを知れるんだなと思いました。

## 4.オーナー様による植え付け

2023年4月2日にハガミ山 木之郷フジバカマ園でオーナー様による苗の植え付けがありました。当日は85名の参加です。後ろの千尋神社の桜は昨年と同様に満開でした。



2月の講演会で配布した、アサギマダラ蝶のバッチを希望者に進呈したところ、「私も私も」と喜んでくれました。オーナー様には、苗を植え付けした後の水やりや雑草抜きの依頼を説明したチラシを配りました。後日、早速実行に移しペットボトル持参で、水やりに来てくれた人がおられました。

また、来年からは実費(肥料代、消毒代、ネームプレート作成代等)にお金がかかるので1,000円を支払ってもらうことに同意してもらいました。

## 植え付け風景

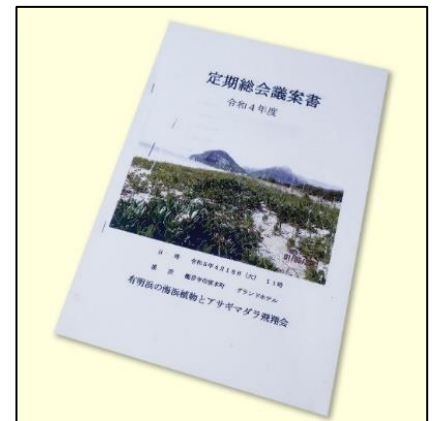


オーナー様に配布のチラシ

植え付け完了後のフジバカマ園

## 5. 定期総会の開催

2023年4月18日にグランドホテルにて、令和4年度の定期総会が開催されました。コロナ禍により通常の定期総会は中止となり役員会での開催となりました。総会次第は皆さんにお配りした定期総会議案書によります。議案書には令和4年度の活動状況報告書・収支決算書・会計監査報告書・令和5年度の年間実施計画表・令和5年度の収支予算書の掲載がありました。



## 6. 新体制の発足

令和5年度の会長・副会長等の改正がありました。会長は高島一芳さん、副会長は小野武さんです。監査は石川久夫さん、会計は金崎敬子さんです。金崎さんのフォローは太田晴夫さんが行います。

### ■ 高島会長のあいさつ

今年度スタートを迎え会長という大役を務めることになりました。

歴代会長、先輩皆様の培われた、有明浜の環境と海浜植物の保護と約2000km旅する蝶アサギマダラが、春に北上する時に有明浜の海浜植物スナビキソウの蜜を求めて飛来する、秋には蝶が南下する時、伊吹島と木之郷町のフジバカマ園に花の蜜を求めて飛来。年2回飛来するのは話題になり、マスコミに取り上げられています。

ボランティア奉仕の精神を受け継ぎ会員同士のコミュニケーションを計り、感動しあえるボランティア活動を行っていきたいと思っています。少しでも環境に力を貸して下さい。地域団体の皆様のご支援とご協力を賜ります様お願い致します。

### ■ 小野副会長の自己紹介

昭和20年3月26日生まれ

私の20才代の10年間はムショク、トウメイの必殺素浪人だった。

海に山にと仕事をしている現在よりも毎日忙しくて、「人殺し」と「親孝行」以外何でもした。

瀬戸内海一帯、宇和島、高知などの海へ潜りに行き、1年のうち150~200日近く、今で言うスキダイビングに行っていた。瀬戸大橋から燧灘の間の無人島を含め、海へ潜らなくてもほとんどの島へ上陸した。

体力にも自信があり、自分はもしかすると「スーパーマン」ではないかと自負していたが、現在の自分は腰、脚を痛めて杖をつきマルナカ、コスモス等へ買い物に行っている「スーパーマン」に成り切っている。

■ 新たに運営委員になられた方は秋山史郎さん、庄司治生さん、大西勝也さんです。

## 7.パンフレットの作成

有明浜の海浜植物とアサギマダラ飛翔会の「活動ご報告」のパンフレットを作成しました。市役所の商工観光課・地域支援課に配布しました。市役所はホームページの掲載とリンクでお世話になっているからです。その他の配布は、観音寺総合高等学校や観音寺信用金庫、観光協会、三豊中学校などです。パンフレットはA4サイズの3つ折りで両面印刷した光沢紙となります。

内容として有明浜清掃のボランティア活動・伊吹島への学校連携・市民の観察会実施・ウンランの花見会・写真展・講演会・アサギマダラの幼虫から成虫への循環・ハガミ山 木之郷フジバカマ園・有明浜の海浜植物とアサギマダラ飛翔会のあゆみです。



## 8.アサギマダラの初飛来を確認



5月6日 伊吹島に初飛来

■2023年5月6日朝、伊吹島の北浦の公園にあるスナビキソウに1頭が飛来しました。

■2023年5月15日に有明浜の9番と10番ゲートにあるスナビキソウに2頭が飛来しました。

■2023年5月20日にハガミ山 木之郷フジバカマ園に1頭が飛来しました。

## 9.有明浜の階段にパネル貼り付け



有明浜の清掃を行っている7・8・9番ゲートのコンクリート階段に、海浜植物のパネルを貼り付けしました。その下には、  
**有明浜は自然の宝庫**  
**海浜植物を大切に**  
**自然は市民の宝**  
 の表示があります。

7番ゲートはスナビキソウ、8番ゲートはタイトゴメ、9番ゲートはハマウツボのパネルです。



## 10.アサギマダラの羽化と旅たち

■高橋泰雄さんからのレポートです。



羽化

5月5日早朝に羽化しました。太田晴夫さんから幼虫を5匹預かり、内2匹が途中で下痢をしかけ、だんだんと小さくなりました。3日～4日に2匹共に死にました。篠原先生から預かった幼虫も、下痢をしながら、死にました。1匹を羽化させることでひとつ責任を果たした感じがします。

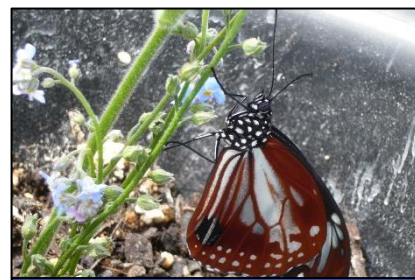
5月5日の午後に有明浜で放蝶しました。不織布を外したアサギマダラは熱心に忘れな草に吸蜜して、なかなか飛び立とうとしません。一呼吸置いて皆が見守る中、アサギマダラは旅たちました。



鬼女蘭鉢を有明浜へ



写真撮影



吸蜜するアサギマダラ

■太田一歌ちゃんからレポートです。(原文のママ)



5月3日 蛹の状態

アサギマダラは、タテハチョウだからサナギは一点でぶら下がっています。羽化の時、成虫は、ぶらさがっていたから落ちないか少しこわかったけど、ちゃんと羽化してくれて、とても感心しました。そのあと、メスだとわかって、すごくうれしかったです。有明浜でわかれたあとちゃんとたびができるように願っています。また、オスとこうびをして子そんをのこしてほしいです。



5月4日 斑模様出現



5月5日 深夜の羽化



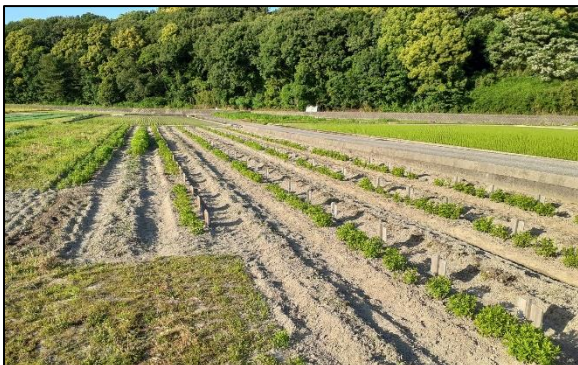
アケエリアスを吸う

## 11.フジバカマ園の作業日誌

4月に植え付けしてから草抜き等は実施していませんでした。白絹病の殺菌消毒をするための作業性を考慮して、フジバカマ株の周辺に出ている雑草を抜きました。殺菌消毒はモンカットフロアブル40を使う予定で、6月の梅雨の晴れ間を狙って行います。

フジバカマは5列にわたり500株あります。5月20日から開始して23日、24日、27日ようやく草抜き作業が片付きました。

また、アサギマダラはスナビキソウの蜜だけではなく刈り取ったフジバカマの茎から、何かしら液体を吸っている場面に出くわしたと太田さんは言います。この1頭がハガミ山 木之郷フジバカマ園での初飛来です。



5月27日草抜き完了

アサギマダラはスナビキソウの葉やフジバカマの茎などからも毒素のピロリジンアルカロイドを摂取することをフェイスブックで知りました。

飛翔会会員でオーナーになっている人は草抜きに協力してあげましょう。



観音寺市ホームページに、アサギマダラ  
～旅する蝶～が紹介されています

<https://www.city.kanonji.kagawa.jp/so-shiki/21/13995.html>



— 予告 —

夏休み親子で海浜植物観察会

2023年7月23日(日) 午前9時から


集合場所：有明グランド休憩場

対象：観音寺市内の小学生親子・中学生親子

お問い合わせ：090-7783-5812 (高橋)

後援：観音寺市教育委員会

広告

地域と歩む 新たな未来  
 観音寺信用金庫

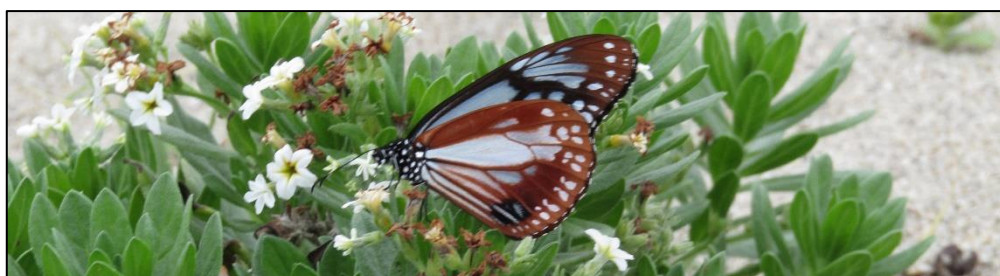
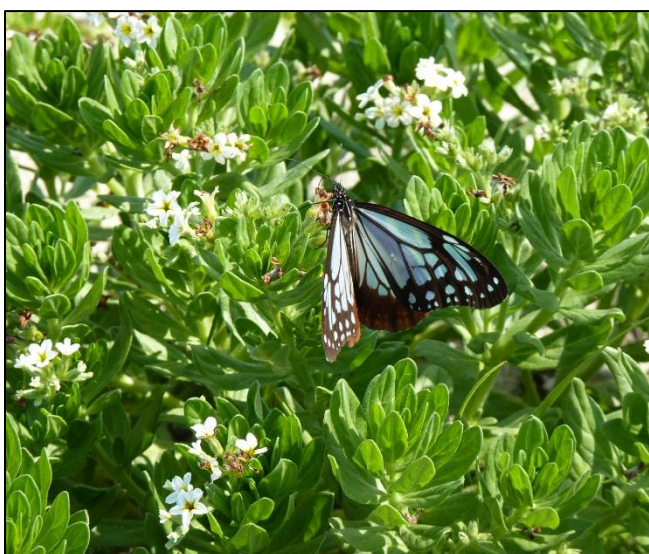


観音寺市観音寺町甲3377番地の3 TEL 0875(25)2181 <http://www.kanshin.co.jp>

かんしんキャッシュカードの当金庫ATMでの入出金手数料は、土・日・祝日も無料

## 12.有明浜の海浜植物シリーズ【第2回】

今回はスナビキソウです。開花時期は5月から6月で葉・茎と共に柔らかい毛で覆われています。有明浜では汀線近くに群生が見られますが環境の変化に敏感で、人の出入りが多い場所から姿を消しています。「有明浜の海浜植物群落」は観音寺市指定天然記念物で貴重な財産です。皆さん大切にしていきましょう。



http://www.kanonji-gh.com

海鮮うまいもの処  
**磯の茶屋**

**観音寺グランドホテル**  
〒768-0067 香川県観音寺市坂本町五丁目18-40  
TEL (0875) 25-5151 FAX (0875) 23-1100

有明浜の海浜植物とアサギマダラ飛翔会のロゴマークはご存じですか？

円はボランティア活動の輪が広がり発展していく様子を示し、フジバカマ園のやすらぎと交流の場をモチーフにした意味があります。

有明浜の海浜植物を守っていくことを緑色で表現し、マイクロプラスチック等のゴミ拾いを通じて、環境保全 SDGs の達成を目指します。



【お知らせ】

■有明浜の海浜植物とアサギマダラ飛翔会は、持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



■有明浜の海浜植物とアサギマダラ飛翔会ホームページ  
ariakehama.org



会員のみなさまへ

当会はみなさまの会費で運営ができています。必ず年会費 1,200 円は納めるようお願いいたします。遠方の方は 140 円切手 8 枚を郵送してくれてもかまいません。

有明浜の海浜植物とアサギマダラ飛翔会 会長 高畠一芳

連絡先 090-1006-6677

住所

768-0060

観音寺市観音寺町甲 3102-2

だより 9 号は広報誌編集委員が作成しました。

2023 年 7 月発行